



青森県教組養護教員部 2018.7.27.



発行は8月毎に行います。



2012年 第1刷

『人生の旅をゆく2』 よしもとばなな 久しぶりによしもとばななを読みました。なかなかいいです。

校長先生

小学生のときの先生には恵まれていたと思う。基本的にはみんな個性的で楽しい先生だった。私たちはのびのびとしていたし、先生も個人的におうちと呼んでくれたり、いろんなことを「まあいいか」とゆるしてくれてくれるおらかさがあつた。私はテストの答案に勝手に自分がつけたペンネームを書いたりしていたが、普通に採点されて返ってきた。よく考えるところがいっぱいことだと思ふ。

それでも私はどこかで「大人にたいしてはこれくらいいいや」という思いを持つたいやな子どもだったと思う。当時の校長先生は関とうじろう先生という人だった。クラスに、『ドラえもん』でいうところのジャイアンみたいな、かわせくんという子がいてどっちかというところわがられていたけれど、校長先生はある日の朝礼で「かわせくんは、遠くからでも私を見かけると大きな声で『おはようございます』『さようなら』とあいさつしてくれる。すばらしいことだと思ふ」とおっしゃった。確かにかわせくんはいつもはきはきして、ひきょうさはなかった。その面を評価されたことが、今もかわせくんの人生を支えている、そんな気がする。先生がするべきことって、本来そういうことなのではないだろうか。

校長先生は卒業前に、六年生全員を数人ずつ校長室に呼んでいっしょに給食を食べた。その企画自体がすばらしいと思う。

私の番になり、校長室でごはんを食べながら、将来なになになりたいかと聞かれた。作家になるということをまだ大人に知られたくなかったので、あたりさわりのない職業を言った。すると校長先生は完全に見破った感じで「その仕事はどういうことをするのか、くわしく知っていますか？ たとえばこういう場合は？」みたいな感じで、つつこんできた。私は負けた、と思った。すごい大人がいるんだなあ、と思って、恥ずかしかつた。そのことを今も大切に思っている。

お元気ですか。

夏休みに入りましたね。ハードな1学期、みなさん頑張りました。少しゆっくり過ごしてください。

異常気象や地震、そして虐待などで子どもたちが七くはっています。胸がつぶれる思いです。ニュースに目や耳を塞ぎたくありません。学校の子もたちは元気でしょうか。安心して過ごせる夏休みでありますように……。

2018.アンケート署名のお願い

全職場養護教諭のみよさま

昨年はアンケート等へのご協力ありがとうございました。今年も同じアンケート署名をお願い

- 2018.役員体制
- ◇部長 桑野三千代(上北)
- ◇副 田中芳子(三八)
- 川村睦子(西北)
- ◇情宣 阿部陽子
- ◇会計 小形ひとみ(東青)

県定期大会での発言から

- ペーパーレスでの会議校が増えている。ソフトを渡されるが、画面の文字がなかなか頭に入っていない。
- 全校での集団行動がかなり訓練されている。「1秒で起立、整列」など。やらされているなという感じがした。

折々ことば

鷲田 清一 1147

雨の日は、しんみり物を考えるにはもってこい。人間にはそんな日が必要なのだ。

アルムおんじ(ハイジのおじいさん)

1歳で父母を亡くし叔母に育てられたハイジは、故あって祖父に預けられる。村人に煙たがられる彼も、ハイジには、摘んだ花が萎れる理由や鷹の叫びの意味、風との対話や夕焼けの美しさについて、いつも易しく、深く語る。足りないものを補いあう人と自然の交わりを、ハイジは彼の下で学んでゆく。アニメ作品「アルプスの少女ハイジ」第2・3話(脚本・吉田義昭)から。

2018・6・23

6/23(土)今年度の総会が終わりました。県本部から一戸義規先生が出席して下さって、10名での情報交換・討論となりました。私は出席できなかったのでその時の内容を充分お伝えできませんが、ほんの少しだけ紹介します。

- アンケートは昨年並みに実施する。
- 養護教諭の配置が不十分。教諭の免許をもった人が代登で勤務しているという学校が数校あり。
- ピロリ菌の検査を村(自治体)を通してやるという動きの地域がある。学校を通すか否かは不明。
- 予算の中から学習会に参加した人への補助を増やす(予算を使い切る)

アンケートは、日頃思っていること気にかかっていることなど自由に書いてください。

署名は、職場にお願いできる所は回覧してください。無理な場合は自分一人分の記入でもOKです。一人分でも力になります。用紙が足りないときはコピーしていただけますか。

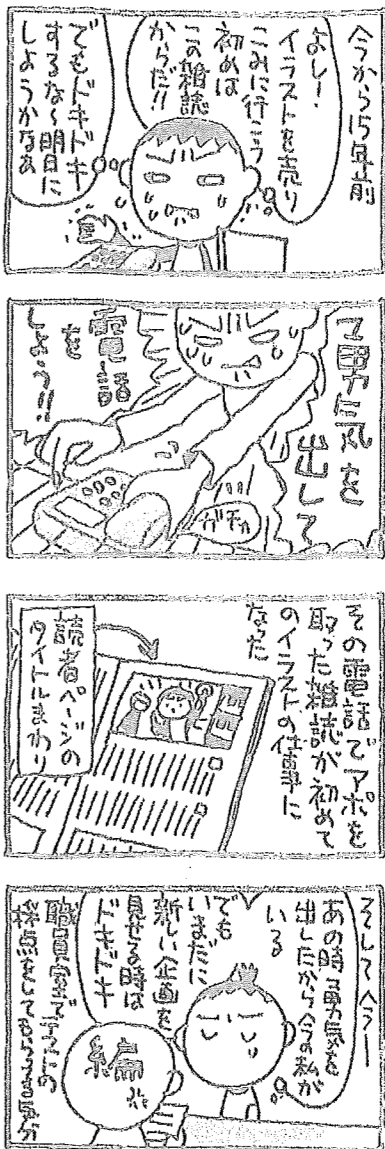
県教委交渉の時に有力な手段にします。現場の声とつづけることができます。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)



## 迷った時は、 勇気がいるほうを選ぶ。

CHECK!



日常生活は、常に選択の連続です。

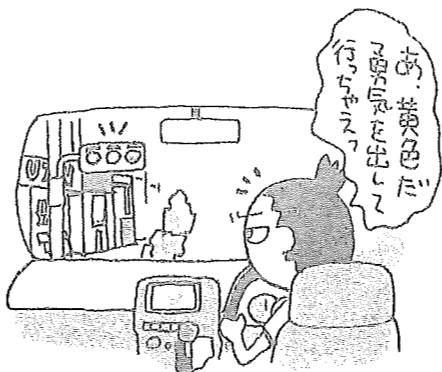
今、起きようか、あと5分寝ようか、朝ごはんはパンにするか、ごはんにするか……。

このくらいの選択にはそんなに勇気はいらないけれど、迷った時は勇気がいるほうを選ぶようにしましょう。

例えば、今まで着たことのないようなデザインと色の服を着ようか、今まであきらめていた習い事を、思い切って始めようか、新しいクライアントを開拓するために、今まで行かなかった会社を足で運んでみようか、あの立っているお年寄りに席をゆずろうか、好きな彼を映画に誘ってみようか……など。

私の場合の勇気ある選択は、絵や企画を初めての出版社に売り込みに行く時。今、電話しようか、それともまたの機会にしようか。

この本の企画もドキドキしながら勇気を出して、アポイントを取った結果なのです。人生そのものが、選択なんですね。



「新しい色だ、勇気を出して行こう！」

勇気を出し惜しみしてきた結果が、今の自分。



●頭の中から、変えてみる!

(11) 2018年7月15日(日)

## 「言いたい劇場」 小菅りや子

